

科目名	単位数	学年	必修・選択	備考
数学B・C	1+1	2	必修(理型)	分割履修

1. 科目の概要・学習目標

(1) 数学B

①数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。②数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

(2) 数学C

①ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。②大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 成績・評価・観点の割合（観点別評価の重みもここで記載）

(1) 知識・技能：思考・判断・表現：主体性＝5：3：2

(2) 評価は「定期考査・確認テスト・提出物・振り返りシート・授業態度」を数値化して行う。

各学期観点別にA・B・Cで評価し、学年末には5段階評価を付ける。※2科目同じ評価を付ける。

3. 使用教科書・副教材

(1) 高等学校 数学B (数研出版)、高等学校 数学C (数研出版)

学習する単元は、数学Bの数列と数学Cのベクトルとする。

(2) 4プロセス

4. 授業展開・形態・方法（授業の進め方、受講に当たって臨む態度、少人数・習熟度など）

3クラス4展開の習熟度授業を行う。標準クラスは基礎基本の定着を図る。応用クラスは発展的な内容の演習も行う。間違えや正解の両方の思考を楽しむ気持ちで受講に臨んで欲しい。

5. 学習方法・学習のポイント（自学の進め方、予習・復習の方法など）

スタディサプリや副読本を活用し、きちんと家庭学習を行うこと。